

議会だより



“新成人の笑顔”

震災復興基金を創設

- ◇各委員会の委員が決まる …… 8・9 P
- ◇一般質問 7名の議員が登壇 …… 13 P
- ◇行政区長との意見交換会 …… 21 P

平成23年
第4回 定例会

[12月12日～12月16日]

震災復興基金を創設



平成23年第4回定例会が12月12日から16日までの会期で開かれました。

条例の制定・廃止、指定管理者の指定、平成23年度各種会計補正予算等の審議を行い、一般会計補正予算は、当局が撤回した後に再度提案され、14件の議案は原案通り可決しました。

一般質問は7人の議員が14件の町政について質問しました。

質疑者

- 今尾 色川 晴夫 議員
- 野口 慶悦 議員
- 章 悦 議員
- 片山 正弘 議員
- 菅野 良雄 議員
- 太齋 雅一 議員
- 高橋 幸彦 議員

松島町震災復興基金条例の制定

主な内容

東日本大震災からの復旧および復興事業を推進するため、松島町震災復興基金を設置する条例を制定するものである。

問 基金を処分するとは、どういうことか。

答 全部廃止するのではなく、取り崩すことである。

問 繰替運用とはどういうことか。また期間及び利率の決定方法は。

答 一般会計で歳入の不足があつて、お金が足りなくなった場合に、一時借入金でなく、その基金から借りて充てるということである。原則として、期間は会計年度をまたいではいけない。また期間

と利率の決定は、町の企業会計とのやり取りの場合と同じように取り決めをしなければならない。

問 基金を全額取り崩しても、一次産業等の補助金の少ない分野に使えばよいのではないか。

答 基本的に国費のつくものは国費で対応し、国費のつかないものを単独で、この基金を充てていく。復興計画のメニューを取捨選択して財源を活用し、復旧に努めていく。

問 この東日本大震災復興基金交付金は1回だけなのか。

答 1回だけである。ただ国の財源の問題もあり、今後、必ずあるかどうかはわからないということを前提にして行政施策を進めていく。

賛成全員・可決

松島町ふるさと創生基金条例の廃止

主な内容

地域における固有の歴史、文化、産業を生かし、独創的な地域づくりを推進する目的で設置した松島町ふるさと創生基金条例については、これまでに地域活性化を目的に各種整備事業を実施し、成果を挙げてきたが、条例制定から20年以上経過し、当初の目的が時代の変遷とともに実情にそぐわなくなつてきているため、基金条例を廃止するものである。

問 なぜ廃止しなければならないのか。時代にそぐわなくなつたらそぐうように条例を改正することもできるのではないか。

答 残高が少なくなつて大きな事業がその後でき

ていないと思う。今後の災害に資金が必要であり、復興計画の復旧と復興と創造という言葉からも、このふるさと創生が、地域を頑張らせるという意味で同じ趣旨と思うので、資金を集約して有効に使っていくという考えで、今回この条例を廃止することにした。

賛成多数・可決

指定管理者

「松島町長松園

デイサービセンター」

1. 施設の名称
松島町長松園デイサービセンター
2. 指定しようとする団体
多賀城市高橋四丁目24番1号



長松園デイサービスセンター

○社会福祉法人

千賀の浦福祉会

3. 指定の期間

平成24年4月1日から
平成27年3月31日まで

問 毎年利用者がふえて施設が狭くなっている。定員を増やせないか。

答 2年前に定員を増やしたので、今は増やす状況ではない。

賛成全員・可決

「松島町健康館

デイサービセンター」

1. 施設の名称
松島町健康館デイサービセンター
2. 指定しようとする団体
松島町根廻字上山王6番地の27

○社会福祉法人 松島町

社会福祉協議会

3. 指定の期間

平成24年4月1日から
平成27年3月31日まで

賛成多数・可決

「品井沼農村環境改善

センター」

1. 施設の名称
品井沼農村環境改善センター



松島健康館デイサービスセンター

3. 指定の期間

平成24年4月1日から
平成27年3月31日まで

問 22年度に、収入が約3割落ちた原因は何か。

答 原因の特定は難しい。駐輪場外にとめている人もいて、駅と話してもなかなか進まない。自販機や広告看板などを今後考えていきたい。

賛成全員・可決

「松島町野外活動センター」

1. 施設の名称
松島町野外活動センター
2. 指定しようとする団体
松島町高城字愛宕一、8番地の1

○特定非営利活動法人ウイザス

3. 指定の期間

平成24年4月1日から
平成27年3月31日まで

問 利用者の減少より、収入減が過大である。

答 団体の利用が比較的多く、なかには減免や無料の利用者もいる。収入減の一員になっている。

賛成全員・可決

問 収入が減っている。利用者が減っている。減免の様子を確かめながら、利用

者がと収入増加に努める。

賛成多数・可決

「松島駅前駐輪場」

1. 施設の名称
松島駅前駐輪場
2. 指定しようとする団体
松島町高城字愛宕一、8番地の1

○特定非営利活動法人ウイザス

○松島第一小学校災害復旧工事

○公共下水道高城磯崎処理区 污水管渠災害復旧工事

工事請負
契約の締結

議案審議

主な内容

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災した松島第一小学校の災害復旧工事を実施し、児童の安心安全な教育環境整備を行うものである。工期は3月31日までである。

質疑

問 この工事の入札に町内の業者も参加しているが、大きな業者と対等にできるのか。

答 この工事は災害復旧的なもので、簡単に言えば部分的に直すというところで、町内業者にもできると契約事務審査委員会で判断して参加となった。

問 16社指名して4社しか入札していない。指名の仕方がおかしいのではないか。

答 今県内をふくめて災害復旧の事業が多く、入札における辞退も多かった。

賛成多数・可決



松一小校舎被災状況

工 事 名	松島第一小学校災害復旧工事
契約の方法	指名競争入札による契約
契約金額	金78,750,000円
契約の相手方	仙台市青葉区北山一丁目2番15号 株式会社 深松組

主な内容

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により被災した公共下水道高城磯崎処理区污水管渠の災害復旧工事を施行するものである。工期は3月31日である。

質疑

問 10社を指名して、4社しか入札をしていない。この工事にふさわしい業者なのか。

答 10社とも松島町の下水道の幹線工事の実績がある。賛成全員・可決



磯崎蟹松地区

工 事 名	松島町公共下水道高城磯崎処理区 污水管渠災害復旧工事
契約の方法	指名競争入札による契約
契約金額	金78,750,000円
契約の相手方	仙台市青葉区五橋一丁目4番30号 大木建設株式会社東北支店

平成22年度松島町教育委員会教育行政点検評価の報告

主な内容

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、同法第27条の規定に基づき、各教育委員会においては、毎年教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定された。

本報告は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、もっと町民に信頼される教育行政を推進することを目的に、平成22年度における教育行政の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものである。



子ども達の学習の様子

宮城中央地区視聴覚教育協議会の廃止に伴う精算の報告

主な内容

宮城中央地区視聴覚教育協議会は多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町の一市三町が視聴覚教育に関する事務を共同して、管理、執行することを目的に設立され事業を展開してきた。情報技術の急速な発展、技術の革新により、手軽に視聴できる時代に変化してきた状況から、平成22年6月議会において、平成23年3月31日をもって当協議会廃止議案が可決され、廃止に係る手続きを進めてきた。廃止に伴う精算事務等が整い、平成22年7月末日における住民基本台帳人口により精算額が確定し、本町には24,422円が分配されたので、監査委員の意見を付して報告するものである。

国の第3次補正予算に伴い

震災復興に力を注ぎ

暮らしを守り支える

補正予算

一般会計補正予算

(第11号)

主な内容

● 今回の補正は、国の第3次補正予算に伴う震災復興特別交付税及び東日本大震災に伴う災害復旧費等について補正するものである。13億8,059万5千円を追加し、総額を94億7,823万8千円とする。

歳出

● 震災復興・復旧に資するため、震災復興基金を創設する。宮城県から交付される東日本大震災復興基金交付金および東日本大震災災害復旧・復興寄附金、ふるさと創生基金を廃止して積み立てる。

● 社会福祉総務費は、ボランティアセンターを設置する経費である。

● 公共土木施設災害復旧費は、小石浜地区の越水対策と運動公園テニスコート災害復旧工事について補正するものである。

● 災害救助費は、災害廃棄物処理と損壊家屋等解体工事に要する経費を補正し、被災者受け入れ宿泊施設借り上げ料は、受け入れ見込みがないので減額する。

● 農地費は、除塩事業を共同で経営再建を行う農業者への支援金である。県の交付決定によって補正する。

● 保健体育総務費は、本町の小中学生の体力と運動能力が全国平均・県平均よりも劣っている状況から向上させるため、体力とスポーツへの意識高揚を目的とし、バランス感覚や基礎体力の向上を図るための経費である。

歳入

● 震災復興特別交付税は、国の第3次補正予算に伴い、通常の特別交付税とは別枠で配分される。

● 総務費県補助金は、東日本大震災からの復興にむけて、市町村が地域の実績に応じて弾力的きめ細かに復興事業を行うために創設した。

● 消費安全対策交付金は、農産物放射性物質自主検査手数料について財源措置されたものである。

● 災害復旧費県補助金は、被災農地除塩事業に対するものである。

● 災害費寄附金は、松島町の災害復旧と復興財源として寄附されたもので、東日本大震災復興基金に積立する。

● 歳入欠かん債は、国の第3次補正予算に伴って、震災復興特別交付税が措置されるため減額する。

賛成全員・決



小石浜地内

国内と海外の各地から寄せられた、支援の金額

寄附金 148件 84,336,476円

義援金

町民生活支援義援金	190件	44,065,146円
義援金受付団体義援金 (日赤他)		833,600,000円
県災害対策受付義援金		121,150,000円

(平成24年1月13日現在)

平成23年度
一般会計
補正予算

13億8059万5千円を追加し 総額を94億7823万8千円とする

国民健康保健特別 会計補正予算 (第4号)

主な内容

今回の補正は、121万8千円を追加し、総額を19億721万千円とするものである。経費の確定に伴う国と県への返還金を補正し、財政調整繰入金を増額する。

賛成全員・可決

介護保険特別会計 補正予算(第5号)

主な内容

今回の補正は1,063万8千円を追加し、総額を13億2,932万6千円とするものである。介護保険法改正に伴う清算金を補正し、一般会計繰入金を増額する。

賛成全員・可決

下水道事業特別会 計補正予算 (第6号)

主な内容

今回の補正は800万円を追加し、総額を12億1,836万7千円とする。東日本大震災や台風15号に伴う経費を補正し、一般会計繰入金を増額。また、松島浄化センターと中継ポンプ場、雨水ポンプ場の運転管理業務について債務設定するものである。

質 疑

問 小梨屋地区でポンプ2台を準備するが、これは本復旧なのか。

答 小梨屋では床上浸水したので、応急対策で行う。地盤沈下の影響を確認しながら、補強と水路の整備をし、ポンプ能力が足りなければ増強を考

問 水路状況と配管、ポンプ能力を考えると、集中豪雨に対応可能か。

答 小梨屋地区は、中継ポンプに固定式の自家発電機を設置し、脇の水路に水中ポンプを入れる。ポンプの口径は200ミリを予定している。

賛成全員・可決



小梨屋地内

水道事業会計補正 予算 (第5号)

主な内容

今回の補正は、災害に伴う水道料金の減免等による収入減額と、災害復旧事業に対する一般会計からの繰入金を計上し、震災に関連調整して中止した建設改良事業の費用を減額するものである。これにより、収益的収入総額を5億4,565万4千円に、資本的支出総額を3,757万9千円とし、資本的収支不足額の補てん財源を減債積立金取崩額1,732万円、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額468万8千円、過年度分損益勘定留保資金1,557万円とする。

賛成全員・可決

第1常任委員会

総務課、企画調整課、財務課、産業観光課、会計課、選挙管理委員会、農業委員会、監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項を担当



- 委員長 高橋 利典
- 副委員長 伊賀 光男
- 委員 佐藤 皓一
- 委員 高橋 辰郎
- 委員 尾口 慶悦
- 委員 色川 晴夫
- 委員 太齋 雅一

※櫻井公一議長は中立性保持の理由で常任委員を辞任

第2常任委員会

町民福祉課、建設課、水道事業所、教育委員会の所管に属する事務を担当



- 委員長 渋谷 秀夫
- 副委員長 後藤 良郎
- 委員 緑山 市朗
- 委員 高橋 幸彦
- 委員 赤間 洵
- 委員 片山 正弘
- 委員 菅野 良雄
- 委員 今野 章
- 委員 阿部 幸夫

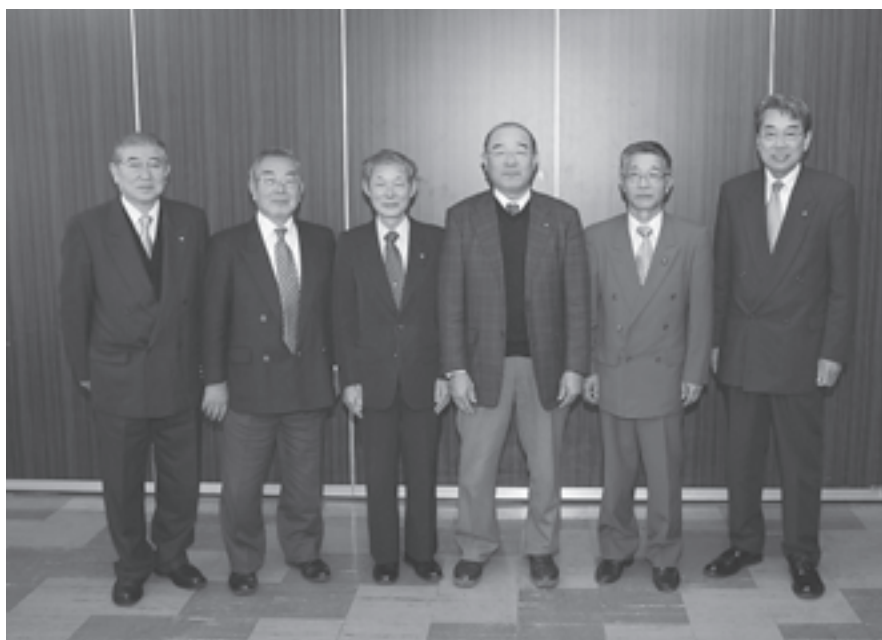
議会運営委員会

委員長 太齋 雅一
副委員長 今野 章
委員 高橋 利典
委員 渋谷 秀夫
委員 尾谷 悦夫
委員 片山 正弘
委員 阿部 幸夫



議会広報発行 対策特別委員会

委員長 高橋 幸彦
副委員長 佐藤 皓一
委員 緑山 市朗
委員 伊賀 光男
委員 色川 晴夫
委員 阿部 幸夫



東日本大震災復興対策特別委員会の動き

◇協議事項

震災に係る被災状況の調査及び復興対策に関する事項について

◇委員会開催

第12回 12月22日

◇小委員会の委員選任

定例会において常任委員会の委員任期満了により、委員会構成の変更となった。あらためて、小委員会の構成は第1常任委員会の委員が、第1小委員会。第2常任委員会の委員が、第2小委員会。又、各正副委員長には、各常任委員会正副委員長となる。

◇協議内容

東日本大震災を教訓に議会として、災害対策本部設置について協議した結果、議会先例集での実施と松島町議会災害対策本部設置要綱(案)の意見が出された。

この2点について協議した結果、賛成多数により、「松島町議会災害対策本部設置要綱(案)」として決定したものである。今後要綱などを精査し、本議会に提出する予定である。

臨時会

質疑者

尾川 晴悦 議員
色川 辰夫 議員
高橋 章 議員
今野 郎 議員

災害復旧費 主に文教施設の復旧に!! 1億8,429万4千円を追加



解体中の松島中学校講堂

今臨時会は、災害による被害者に対する援護資金の貸付けに関する条例の制定案、および一般会計補正予算について審議されました。

災害による被害に 対する援護資金の 貸付に関する条例 の制定

主な内容

9月21日発生の台風15号により住宅の床上浸水被害を受けた世帯に対し、その生活の建て直しに資

するための援護資金の貸付を行うために条例を制定するものである。

質疑

問 償還期間を13年、据え置き期間を6年と定めた理由は。

答 東日本大震災の援護資金の貸付条例が本年度改正され、それを踏まえ定めた。

問 据え置き期間の6年間の利子はどうか。

答 据え置き期間については利子は発生しない。

問 条例、規則等高度な法律判断は住民の方にはむずかしいと思うが。

答 町民の方々には判りやすくパンフレット等で通知の仕方に十分気を付けたい。

賛成多数・可決

補正一般会計 予算計 (第9号)

主な内容

今回の補正は、東北地方太平洋沖地震に伴う災害復旧費等について補正するものであり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億8,429万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ80億9,941万1千円とするものである。

主な事業と予算は次の通り、

①震災復興会議委員報酬 21万5千円

②災害援護資金貸付金事業

台風15号によって床上浸水被害を受けた世帯で、貸付限度額100万円を5件分、500万円。

③松島温泉組合事業補助金事業

観光誘客を目的に旅行広告掲載等で150万円。

④町営住宅災害復旧工事事業

住宅の復旧工事の必要箇

所に420万円
⑤文教施設災害復旧事業
第二幼稚園・第一小学校・第二小学校・第五小学校・中学校災害復旧工事費に1億7,335万円8千円。

質疑

問 景観も含めて、復興計画の取り組み方、考え方を説明して欲しい。

答 復興計画を具体的な事業の本身は、復旧事業でやるのか、復興事業でやるのか、また創造事業でやるのかを議論しながらできた段階で発表しようと思っている。

問 学校関係施設で、1億7,000万円の被害があったが、議員に現地調査をさせるべきであったのでは。

答 議員にも現地を見ていただいた方が、より適切に施設の改善、改修等が進んだと思っている。

問 町営住宅の補修であるが、単なる補修なのか。

答 基本的に、今住んでいる被害宅の補修である。

賛成全員・可決

臨時会

松島フットボールセンター 20年間無償貸付 (社)宮城県サッカー協会に



松島フットボールセンター

質疑者
菅野 今野 野野
賀野 光良 章
光雄 章
男 議員
議員 議員

今臨時会は、平成23年9月の人事院勧告に伴う、職員給与の引き下げのための条例改正、および松島フットボールセンターの(社)宮城県サッカー協会への長期無償貸付について審議されました。

職員の給与に関する条例等の一部改正

主な内容
今回の改正は、平成23年9月30日に出された人

事院勧告にかんがみ、一般職の職員等の給料の引き下げに係る措置について改正するものであり、民間給与水準を上回っている50歳台を中心に、40歳台以上を念頭に置いて引き下げをするものである。

討論

【反対】
今野 章 議員
この数年間、人事院勧告はほとんどマイナス勧告が続いて

きた。さらに今国会で特例法案が成立すれば、職員の給与水準が低下して労働条件が改悪される。町職員は、東日本大震災への対応も含め寝食を忘れて長時間労働をしている。

労働者賃金が毎年下げられていけば、消費購買力の低下からデフレとなり、経済の悪循環を招く。よって、給料減額の条例改正には反対である。
賛成多数・可決

町有財産の無償貸付

主な内容
平成21年度より(社)宮城県サッカー協会に無償貸付をし運営されている松島フットボールセンター(松島町手樽大蓬沢)について、平成43年3月末日までの約20年間、現行とほぼ同条件で、長期無償貸付契約をするものである。

これは、東北地方太平洋沖地震により、芝グラウンド・その他施設が甚大な被害を受けたことについて、国際サッカー連盟(FIFA)が、(財)

日本サッカー協会の救済要請により、同フットボールセンターの復旧・改修工事に約1億2,000万円の投資を行うことに伴い、同施設の長期間契約の要請を受けたことによるものである。
賛成全員・可決

一般会計補正予算(第10号)

主な内容

今回の補正は、9月30日の人事院勧告にかんがみ、給与等、および10月からの法改正に伴う子ども手当、ならびに職員の居住地の変更に伴う通勤手当等の人件費を減額するものである。
賛成多数・可決

観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)

主な内容

今回の補正は、人事院勧告による人件費を減額するものである。
賛成多数・可決

下水道事業特別会計補正予算(第5号)

主な内容

今回の補正は、人事院勧告による給料、および子ども手当を減額するものである。
賛成多数・可決

水道事業会計補正予算(第4号)

主な内容

今回の補正は、人事院勧告による給料、および子ども手当を減額し、水道事業費用を減額し、水道事業費用の総額を5億9,853万2千円とするものである。
賛成多数・可決

介護保険特別会計補正予算(第4号)

主な内容

今回の補正は、人事院勧告による給料等、および子ども手当を減額するものである。
賛成多数・可決

平成23年 第4回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員(可決・採択) 多：賛成多数(可決・採択) 否：賛成少数(否決・不採択) ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席
※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山	佐藤	高橋	伊賀	高橋	渋谷	高橋	尾口	色川	赤間	太齋	後藤	片山	菅野	今野	阿部	櫻井	賛成	反	
				市朗	皓一	辰郎	光男	利典	秀夫	幸彦	慶悦	晴夫	洵	雅一	良郎	正弘	良雄	章	幸夫	公一	成	対	
議案第112号	松島町震災復興基金条例の制定について	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第113号	松島町ふるさと創生基金条例の廃止について	12月14日	多	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	3
議案第114号	指定管理者の指定(松島町長松園デイサービスセンター)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第115号	指定管理者の指定(松島町健康館デイサービスセンター)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第116号	指定管理者の指定(品井沼農村環境改善センター)	12月14日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	15	1
議案第117号	指定管理者の指定(松島駅前駐輪場)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第118号	指定管理者の指定(松島町野外活動センター)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第119号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第11号)	12月14日	撤回																				
議案第120号	平成23年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第121号	平成23年度松島町介護保険特別会計補正予算(第5号)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第122号	平成23年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第6号)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第123号	平成23年度松島町水道事業会計補正予算(第5号)	12月14日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0
議案第124号	工事請負契約について(松島第一小学校災害復旧工事)	12月16日	多	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	2
議案第125号	工事請負契約について(松島町公共下水道高城磯崎処理区汚水管渠災害復旧工事)	12月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1
議案第126号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第11号)	12月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0

平成23年 第8回松島町議会臨時会 議案採決結果 11月16日

全：賛成全員(可決・採択) 多：賛成多数(可決・採択) 否：賛成少数(否決・不採択) ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席
※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山	佐藤	高橋	伊賀	高橋	渋谷	高橋	尾口	色川	赤間	太齋	後藤	片山	菅野	今野	阿部	櫻井	賛成	反	
				市朗	皓一	辰郎	光男	利典	秀夫	幸彦	慶悦	晴夫	洵	雅一	良郎	正弘	良雄	章	幸夫	公一	成	対	
議案第103号	災害による被害者に対する援護資金の貸付けに関する条例の制定	11月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1
議案第104号	平成23年度一般会計補正予算(第9号)	11月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	0

平成23年 第9回松島町議会臨時会 議案採決結果 11月28日

全：賛成全員(可決・採択) 多：賛成多数(可決・採択) 否：賛成少数(否決・不採択) ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席
※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山	佐藤	高橋	伊賀	高橋	渋谷	高橋	尾口	色川	赤間	太齋	後藤	片山	菅野	今野	阿部	櫻井	賛成	反	
				市朗	皓一	辰郎	光男	利典	秀夫	幸彦	慶悦	晴夫	洵	雅一	良郎	正弘	良雄	章	幸夫	公一	成	対	
第105号	職員の給与に関する条例等の一部改正について	11月28日	多	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	13	2	
第106号	町有財産の無償貸付けについて	11月28日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	0
第107号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第10号)	11月28日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	14	1	
第108号	平成23年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)	11月28日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	14	1	
第109号	平成23年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第4号)	11月28日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	14	1	
第110号	平成23年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第5号)	11月28日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	14	1	
第111号	平成23年度松島町水道事業会計補正予算(第4号)	11月28日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	14	1	

賛否の公表

町政 Q & A

ここが聞きたい! 一般質問

7名の議員が14件について質問

佐藤 皓一 議員 (14ページ) ● 大学を誘致できないか
● 松島観光はこのままでいいのか

高橋 辰郎 議員 (15ページ) ● 定住化促進における「特区」施策の推進を求めたい
● 友好・交流都市として熊本県高森町・山形県中山町を推薦したい

高橋 幸彦 議員 (16ページ) ● 防災対策について
(①避難所②内水の排水)
● 町のホームページのバナー広告 (モバイル広告) について

色川 晴夫 議員 (17ページ) ● 松島町震災復興計画で示された港湾整備と海浜環境整備について
● 集会施設整備 (空き住宅活用) について再度伺う

今野 章 議員 (18ページ) ● 食品等の放射線検査と正確な情報提供を
● 高齢者の願いに応える介護保険計画を
● ヒブワクチンなど接種費用助成の継続について

菅野 良雄 議員 (19ページ) ● 鉄道駅周辺への住宅供給方策について
● 災害備品管理場所について

後藤 良郎 議員 (20ページ) ● 災害時の避難対策について



さとう こういち 議員
佐藤 皓一 (一問一答方式)

問

大学を誘致できないか

答

検討対象の一つである

問 大学を誘致できないか。町の人口増加と活性化が期待できるし、知と情報の拠点があれば、町の財産になる。

答 必要性は感ずる。検討対象の一つと考えているが、大学の教育市場を調べる必要がある。また、5年くらいは復旧復興を優先させたい。

問 人間教育や学生食堂など、喜ばれる条件を多様に整えて、入りたいを選んでよかつたと思われる学校を作れば、既存の大学網に割り込めないか。

答 可能性は広がるかも知れない。一般的には企業の進出意思が必要で、全体の市場も大切である。事業所誘致を発展的に定住化に結びつけるために、今後調査する。

問 大学の存続は難しくなる。条件次第で、行くと思うかも知れない。

答 少子化のため、大学と高校の存続は厳しい状況にある。町として、定住化に結ぶ選択肢のなかに残しておく。

問

松島観光はこのままでいいのか

答

考えて、手を打っていく

問 松島観光の中長期的な課題は何か。

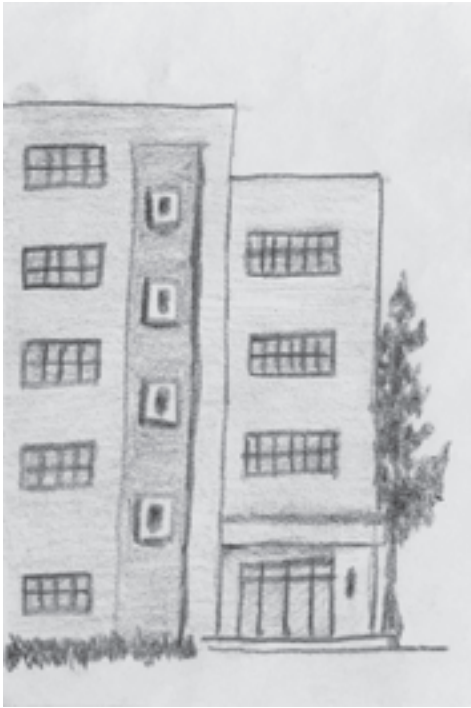
答 観光客数は、やがて元に近づくと思う。単に待っているのではなく、キャンペーンやPRに力を注ぐ。国際化と地産地消、歩行系の整備をする。国際化では「世界で最も美しい湾クラブ」に参加しようとしている。

問 センスはどうか。てんこ盛り賞味会では挨拶に1時間かかった。体質改善しないといけない。

答 今回特に、さまざまな努力をしてこぎつけたという思いが出たのかも知れない。注意して、納得してもらえらる運営をするよう話をする。

問 観光全体が長期低落傾向にある。現状維持も大変なのに、松島観光は上品すぎないか。

答 国内人口は増えないので、海外からの客を入れるのが課題である。地道なことをやってチャンスを待ち、いろいろなアイデアをヒントにして考えることも大切である。





たか 高 橋 辰 郎 議員
(一問一答方式)

問 定住化促進における「特区」施策の推進を求めたい

答 災害特区を活かしていきたい

問 今国会で震災特区が成立する。特区申請の流れを聞きたい。

答 町は基本事項・内容をまとめ県に申請する。県(企画部)は県内被災自治体の申請をまとめ国に進達する。

問 避難施設で松島海岸地区を考えたとき、施設建設は調整区域でも可能なのか。

答 可能である。

問 備蓄倉庫も可能なのか。

答 避難施設と同様可能である。



問 工場の他市町よりの受け入れは(全壊、半壊等)。

答 5年間、税の減免がある。

問 今次特区の特徴は。

答 被災地が特区を受けられる。期間は5年間。内容は①復興計画②推進計画③整備計画④交付金事業計画で、避難通路は特別名勝内も含まれている。

問

友好・交流都市として熊本県高森町・山形県中山町を推薦したい

答

交流市町のひとつとして検討したい

問 震災翌日に秋田県にかほ市は、給水車(4t車)で支援に駆けつけてきている。日頃の交流こそ有事に生きてきている。私の交流をふまえ、熊

本県高森町と山形県中山町を交流自治体としてすすめたい。

答 今次災害で全国の自治体と交流できたの思っている。支援をいただいた自治体も多く、パイプが増えた。芭蕉サミットの大垣市を始め、最上町や平泉とのパイプも太くなった。

問 交流自治体として、しからばもう少し詳しく説明して欲しい。

答 中山町からは地産地消交流のお話があった。市は倉敷・東広島市等8市、町は福井県武生・長崎県上五島の2町である。交流先は、調査し検討を深め方針化していきたい。



議員 高橋 幸彦 (一問一答方式)

問 防災対策について (①避難所②内水の排水)

答 内水の排水についてはしっかりと対応していくと約束できる

問 3月11日の大震災以後の避難所の見直しと、その重点対策は。

答 各地域に係る避難所の一次避難、それから二次避難の位置づけ、これに基づき場所と数をこれから整理して、地域防災計画に反映させていくとともに、震災復興計画にも連携した内容ですめていく。また、民間の施設(旅館・ホテル・寺院等)や各学校とも協議をしていく。

問 復興計画は12月中旬に策定するが財源は大丈夫か。

答 新しい防災機能の追加等についても国も相当力を入れているので、十分確保できると考えている。

問 台風15号による豪雨で床上浸水等の被害がでたが、内水の排水については、効果的かつ本格的な対策が必要ではないか。

答 下水道基本計画の見直しを平成23年度事業として実施している。既存の11か所の雨水ポンプ場および西柳地区も含め、降雨強度と排水能力、それとともに地盤沈下の影響の再確認を行い、能力不足の場合は排水ポンプの増強、排水路の整備等を計画している。 これまでも内水の排水問題は町行政の大きな課題であった。内水の排水問題についてはしっかりと対応していくと約束できる。



長田第2排水機場

問 町のホームページのバナー広告 (モバイル広告)について

答 来年4月から実施予定である

問 町のホームページへのアクセス数がふえている。バナー広告を考えているのか。

答 ホームページへのアクセス数は3月で前年の約4倍であった。バナー広告については現在準備中であり、来年4月から実施する予定である。

問 今、公文書はA4版が基本となっている。窓口専用の封筒ではない袋を作り、それに広告を入れるという方法はどうか。

答 広告の活用のやり方、仕方にはさまざまな取り組みが考えられる。検討を進めていきたい。



色川晴夫議員
(一問一答方式)

問 松島町震災復興計画で示された 港湾整備と海浜環境整備について

答 大型栈橋に屋根付きを 検討していく

問 県の港湾戦略ビジョン策定委員会は、何回開催され、どのような提言がされたのか。

答 産業系港湾プラス観光系港湾の中で、松島の位置づけは観光である。さらに発展出来るよう発言している。開催は3回。

問 安心・安全なすばらしい港づくりの一つとして、大型栈橋に屋根をかけるような気配りのある観光港を目指すべきでないか。

答 なるほどということ、貴重な提案だと思う。具体的話として検討していく。

問 東浜公園地内に社会実験道路がある。震災時かなり利用された避難道路が、避難場所としての検討は。

答 役場内で議論してる。

問 提案であるが、大震災で多くの犠牲者が出たので、来年3月11日に鎮魂をこめ、慰霊祭を行う考えはないか。

答 来年3月11日に、追悼式を午後2時から、町独自で開催することを検討している。



観光栈橋

問 集会施設整備(空き住宅活用) について再度伺う

答 活用方法を再検討したい

問 松島区内の10部にあり、空き住宅活用の質問は3回目である。町長は答弁で興味深いもので、地元と話し合い試行的にやっていきたいと言われたが、その後どう検討されたか、また地元の人と協議はされたのか。

答 担当所管で検討し素案を作成したが、大震災があり、避難所・集会場など町全体の整備もあり、空き住宅の活用は保留の状態である。大震災後、家屋を失い困っている方もいる状況の中で、区を通じて11月1日に払い下

問 地区の行政員も近くに集会施設があればと期待している。町長は常に観光振興・防災・コミュニティと言っているが、地域のコミュニティと家の払い下げのどっちが大切なのか、よく考えて対応すべきでないか。

答 別用途で活用するのかもしれない。検討していく。



今野 章 議員
(一問一答方式)

問 食品等の放射線検査と正確な情報提供を

答 測定の方角で準備中

問 子を持つ親たちが放射線被曝を大変心配している。ホットスポットの確認や放射線の測定ポイントを増やすべきだ。

答 内部被曝を避けるため学校給食等の安全性確認が大切だ。摂取する食物全体の放射線量を測定すべきではないか。

答 現在、保育所、幼稚園、学校等9カ所の公共施設で定期的に測定している。専門機関の意見も聞き検討したい。

答 文科省が測定限界を設け機器の基準を決めたのを受け、測る方向で今準備をしている。

問 地方消費者行政活性化基金で放射線測定機を購入してはどうか。

答 12月9日、国民生活センターが測定機を全国に貸し出す旨の照会があり、手を挙げている。

問 10年20年後に内部被曝の影響が出る。子ども健康調査の実施は。

答 健康調査の必要はないと結論がでていますが、県の動向を踏まえない。



問 高齢者の願いに応える介護保険計画を

答 調査を踏まえ計画策定したい

問 高齢者が住民の一人として大切にされていると実感できる介護保険事業計画の策定が求められるが、第5期計画の策定状況はどうか。

答 24年度からの第5期計画は地震等で遅れ、現在、町民と事業者へのアンケート調査を実施中で、今後、調査を踏まえ介護保険運営員の意見を頂き計画していきたい。

問 介護保険料はどの程度になるか。

答 高齢者人口の増、施設の整備が考えられ、給付の増が見込まれることから、400円程度の値上げとなる見込みである。

問 1億円を超える基金を取り崩し、保険料の上げ幅を少なくすべきだ。

答 3年間で5千万円の基金取り崩しを行っての試算である。

問 町の判断で出来る介護予防・日常生活支援総合事業の導入は避けるべきと思うが町の考えは。

答 国の手引き等を参考に慎重に検討したい。

問 ヒブワクチンなど接種費用助成の継続について

答 高齢者肺炎球菌ワクチン含め実施する

これも聞きました

一般質問



菅野良雄 議員
(一問一答方式)

問 鉄道駅周辺への住宅供給方策について

答 品井沼駅周辺が新たな顔

問 松島町震災復興計画の素案を読むと北部地区四区の復旧・復興・創造の印象が薄い。町の均衡ある発展は北部農村地区の活性化も重要な課題である。第三次基本計画に謳っている品井沼駅を含め鉄道駅周辺で住宅を供給する方策をどう進めたのか。

答 震災で取り組みが遅れ気味になっている。公営住宅も痛んでいることもあり、あるべき姿を検討、計画をつくるのが大事なことと思っている。

問 災害の復旧・復興は最重要課題である。しかし、第三次基本計画に示した鉄道駅周辺で住宅供給をする方策は定住促進・少子化対策・均衡あるまちづくり等々、将来の町の繁栄に欠かすことのできない課題だが計画を断念したのではないか。

答 災害対応等事情もあった。北部地区の道路ネットワーク、土地利用、黒川郡に立地する工場等を踏まえながら着実に進めていく。

問 災害備品管理場所について

答 復興交付金を活用し整備を

問 本町は、災害備品備蓄倉庫を建設し物資の保管をしているが、高城川が越流した場合には物資は安全でも車や人の移動に支障をきたす。また、全国からの支援物資は手樽地域交流センター裏の元体育館に保管している

が、車が直接近づくことができず駐車場からの通路も整備されていない。一刻を争う災害対応を考えると疑問が残る。町内の指定避難所に分散し備蓄することがベストである。分散備蓄や環境整備について伺う。

答 備蓄倉庫の拠点整備並びに設置箇所については、復興計画に盛り込み国の交付金を活用し進めたい。避難所で避難者の方々が緊急に必要とする生活物資・暖房用材・医薬品や生理用品等は、各地域そして一次避難場所の大きい拠点である学校体育館等に設置するよう考え国県と詰めていきたい。



手樽地域交流センター体育館

一般質問



ごとうよしろう議員
後藤良郎 (一問一答方式)

問

災害時の避難対策について

答

蓄光式避難誘導板を

設置していく

問 災害時の要援護者の避難支援については、自主防災組織や民生委員等の方々が避難支援者になると考えられる。発災時に必ず居るとは限らない。一人一人の要援護者に対する複数の避難支援者をあらかじめ決めておくことが重要であると考えられるか。

答 まさにそうだと考える。役場はもちろん社会福祉協議会や地域の方々そして消防団等も含めた形で連携し、定期的に訓練を積み重ねながら、お

問 互いのコミュニケーションを深めて対応したい。全に避難するためには、避難経路の表示や誘導灯等を整備する必要がある。そこで蓄光式避難誘導板を設置すべきと考えられるか。

答 蛍光灯や太陽の明かりを活用した蓄光式避難誘導板は有効であると考えられる。避難場所や建物の階段の表示等に設置していきたい。



行政区長との意見 交換会

議会報告会を踏まえて



日時 平成23年12月22日(木)
午後2時

場所 松島町中央公民館

「議会報告会を踏まえて」をテーマに意見交換会を町内12区長と議会議員17名との間で行われました。

高城集会所建設問題をはじめ、昨年の3月11日、東北太平洋沖地震、大津波による被害及び避難を中心に話題となった。

具体的には、災害復興計画と防災計画（大勢の住民が避難できる体制）の早期策定、海岸、磯崎地区の排水関係、内水対策、防災備蓄倉庫の充実や給水タンクが配置されたが置く場所がないなど、多種にわたって意見が出された。

また、区長自身の悩みとして、各集会所が指定管理者に指定されてから事務量が増えたなど忌憚のない活発な意見交換であった。

議会としても、全体の意見要望を踏まえて議会内部でも検討し、当局に訴えていきたいと考えている。



第1常任委員会 所管事務調査報告

◇調査テーマ

①災害対策について

結論

東日本大震災で地域防災計画のマニュアルどおり具体的な行動や活動がほとんど出来ていなかった。今後、計画の実行にあたっては、年次計画をたて実施計画を示す必要がある。どんな立派な計画でも実効性がなければ意味がない。財政負担を伴うことは当然であり優先順位を定め、次年度から協力を推進し、「安全・安心」の町づくりを務められるよう望むものである。



震災後の早川港

◇調査概要
4月11日から延べ10回
松島町地域防災計画の
検証

◇調査内容

被害想定及び予防計画
被害想定は地震災
害・津波災害の想定は東
日本大震災の実態を把握
した最大の被災想定概要
にする。
災害予防計画について
は水害対策、高潮対策、
ライフライン等対策、通
信網整備、消防力の強化、

◇調査テーマ

②定住対策の推進について

結論

定住促進事業による駅周辺や未利用地の有効活用等について素案の段階になったが具体的な計画には至っておらず進展がみられない。本町は若い世代の定住対策が急務となっていることから、具体的に就業条件の改善、企業誘致、医療福祉の充実等、連動した対策を積極的な対応を求めるものである。



くぬぎ台

◇調査概要

平成22年度から定住ア
ドバイザーによる就業・
観光・不動産・交通・生
活関連サービスによる定
住促進を図る方策が不完
全で経過していることか
ら駅周辺や未利用地の有
効活用や特区構想等につ
いて調査。4月11日から
延べ10回

◇調査内容

本町では近年少子高齢
化による自然減少や転出

などによる人口減少傾向
が進行し地域経済低下、
中心市街地衰退、市街化
区域における土地区画整
理地内での住宅販売の鈍
化、又、東日本大震災の
影響などで環境や不動
産の状況が激変しており、
大規模開発を含め市街化
区域内に未利用地の利用
促進を図り被災者などを
意識した定住促進につな
げる事業について調査を
行った。

第2常任委員会 所管事務調査報告

◇調査テーマ

福祉施設の充実について（人口増と定住化促進）

8項目を提案

- (1) 子ども応援隊・ファミリーサポート事業の取り組みを図る
- (2) 一時預かり保育制度の早期実施
- (3) 児童館の事業展開
- (4) 保育料の基準の見直し
- (5) 小児医療施設の充実確保が急務である
- (6) 乳幼児医療費助成（通院・入院）期間の拡大を直ちに実施して欲しい
- (7) 町民バスの充実を図る
- (8) 町内の救急医療体制の充実



保育所



子育て世代との意見交換会

◇調査概要

平成22年5月19日から
23年7月12日まで延べ17
回

調査は、
①松島の人口動態と定住
状況について
②松島町の人口増と定住
促進に対する取り組み
と他自治体（先進地）
の取り組みについて
③松島町民が「住みたい
と思うまち」はどのよ
うなまちか（新成人・
子育て世代との意見交
換会及びPTA役員へ
のアンケート調査）
以上4項目について調査
した。

①については、10年前と比較して1,803人の減となつて、高齢化が進み、年間の出生率が100人を割っている。世帯数は10年前より若干増えている。これは核家族化が進み、若い年代が減少し高齢者が増加していく少子高齢化社会の典型的なパターンとなっている。

②については、少子化に歯止めをかけるため、子育て支援を積極的に取り組み、幼保一元化で実績を上げている2自治体を研修した。

滋賀県米原市立「いぶき認定こども園」

滋賀県内で最初に「認定こども園」を立ち上げ、「養護と教育」が一体となった保育教育を行い、豊かな人間性を持った子供を育てることを掲げ運営し好評を得ている。その要因として、幼児が慣れ親しんだ園と変わらず、一貫して教育・保育を受けることが出来、保護者が家庭の状況に応じて短時間コースや長時間コースに移動しやすい点である。課題として、幼児教育に対する職員の意識の

相違、担任同士の連携不足、これらをいかに改善していくかがあげられる。

京都府の宇治田原町

「ファミリーサポート事業」を展開し、子育てを「手伝って欲しい人」と「手伝いたい人」が会員となり、地域ぐるみで子育てをしていく上で、大きな安心感と期待が寄せられている。二つの自治体の支援対策で共通点は、園児、保護者の目線に立つての事業展開と、子育てを地域全体で行う姿勢が強く感じ取られた。

③については、成人を迎える若者達、子育てしているお母さん達と将来の松島について意見交換を行った。また、PTA役員を対象にアンケート調査を行った。

町民の声



大山 堯さん
(磯崎字長田)

議会の存在感

昨年は東日本大震災という未曾有の災害がありました。また町長選・県議選も行われ、議員の存在感を問われる年でした。

大震災の折には、議会の存在感が薄く、対応を町の災害対策本部に委ね、議会独自の災害対策本部さえも構築出来なかったことと地域においての議員の活動が評価されなかつたことは誠に残念であります。

一方、町長選・県議選における議員皆さんの存在は濃いものでしたが、多くの町民には理解できない不可解な行動でした。もちろん民主主義ですから議員の皆さんは政治信条の自由・行動の自由もあります。制限は受けま

せんが、町の発展・町民の福祉を第一義に考えるべきで、付和雷同で行動することは、選良としていかなものかと思えます。支持者の負託を背負っている以上、透明性・公正性を保ち行動すべきだと思います。

議会基本条例は議員皆さんが制定したものです。第18条には「議員は、町民全体の代表者としてのその倫理性を常に自覚し、自己の地位に基づく影響力を不正に行使することによって、町民の疑惑を招くことのないよう行動しなければならない。」とうたっております。議員皆様の今後のご活躍を期待します。

消防団出初式

新春の1月9日に松島町消防団出初式が開催されました。団員の整然とした行進と新入団員の力強い宣誓に防災への決意を新たにしていきました。



まちの 一コマ



町のホームページから
議会だよりが検索できます！

ホームページアドレス
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>
議会Eメール
gikai@town.matsushima.miyagi.jp



議会からの お願い

議会だよりへのせる写真撮影のために、議員が向きまします。腕章をつけて行きますので、よろしくご協力をお願いいたします。

次回3月定例会は
3月2日開催予定です。
ぜひ傍聴においで下さい。

“議会報告会”結果は
3月1日に号外で
お知らせします

編集後記

議会広報発行対策特別委員会の委員長となり、前号に引き続き編集後記を担当することになりました。前号に書いた通り議会だよりを、より見やすく、読みやすくすることが私達広報委員に課せられた使命ですが、なかなか簡単にはできませんでした。

一昨年の議会報告会では、何人かの町民の方からおほめの言葉をいただきましたが、昨年の報告会では議会広報についての意見はありませんでした。ぜひ今年の議会報告会ではおほめの言葉をいただき、けるよう頑張っていきたいと思っております。

最後に、議会の傍聴と議会報告会へのより多くの町民の皆様の参加をお願いいたします。
(高橋幸彦)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高橋 幸彦 |
| 副委員長 | 佐藤 皓一 |
| 委員 | 緑山 市朗 |
| | 伊賀 光男 |
| | 色川 晴夫 |
| | 阿部 幸夫 |



この広報誌は環境に優しい大豆油インキで印刷しています